

安全データシート

改訂日:2022年9月9日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ローダミンB
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
05156

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分4
特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(気道刺激性)
水生環境有害性 短期(急性):区分3
水生環境有害性 長期(慢性):区分3

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
飲み込むと有害
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害
【安全対策】
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】
飲み込んだ場合:気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる
気分が悪い時は医師に連絡すること。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

含有量

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

その他

化学物質
ローダミンB
 $C_{28}H_{31}O_3N_2Cl$
CAS RN:81-88-9
90%以上
(5)-1973 / 公表
HSコード:3204.13

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診断を受けること。
口をすすぐこと。
直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
該当情報なし
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去する。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 取扱いについては、局所排気装置または全体換気装置を使用する。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 日光、熱、混触危険物質 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。
安全取扱注意事項	
接触回避 衛生対策	
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 ポリプロピレン
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH	未設定 未設定 未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 保護眼鏡やゴーグルを着用する。 保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶性粉末
色	暗い緑～暗い赤緑
臭い	該当情報なし
融点/凝固点	該当情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし
燃焼性	該当情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし
引火点	該当情報なし
自然発火温度	該当情報なし
分解温度	210～211℃
pH	3～4 (20℃, 10g/L)
動粘性率(粘度)	該当情報なし
溶解度	エタノールにやや溶けやすく、水にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。15g/L (20℃)
n-オクタノール/水分配係数	log Kow = 1.95
蒸気圧	該当情報なし
密度及び/又は相対密度	1.31g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度	該当情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)	該当情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の条件下で安定。 光により変質するおそれがある。 該当情報なし。
危険有害反応可能性	日光、熱
避けるべき条件	強酸化剤
混触危険物質	燃焼によりアンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素が発生する。
危険有害な分解生成物	
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：マウスLD ₅₀ 値は887 mg/kg bw(RTECS(2006); TOERD9 Toxicological European Research.1, 23, 1978)であるとの報告に基づき、区分4とした。 経皮：データなし。 吸入：データなし。 (粉塵)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ不足で分類できない。なお、自動車修理工場において本物質のパウダーを誤って床にこぼしてしまい、それに30分程度ばく露したヒトが、急性症状(皮膚のいたがゆさ)を訴えたという報告があるが、63%が4時間以内に、全員が24時間以内に症状が消散しており、一時的刺激で、重大な後遺症はないとされている(HSDB(2002)、The EFSA Journal 263(2005))。皮膚刺激性が示唆されるが、その他に区分を特定する十分な情報はない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データ不足で分類できない。なお、自動車修理工場において本物質のパウダーを誤って床にこぼしてしまい、それに30分程度ばく露したヒトが、急性症状(眼の熱傷、過度な流涙)を訴えたという報告があるが、63%が4時間以内に、全員が24時間以内に症状が消散しており、一時的刺激で、重大な後遺症はないとされている(HSDB(2002)、The EFSA Journal 263(2005))。眼刺激性が示唆されるが、その他に区分を特定する十分な情報はない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：データなし。 皮膚：データなし。
生殖細胞変異原性	in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、エームス試験で陽性および陰性、ホエジカの線維芽細胞での染色体異常試験で陽性の結果があるが、エームス試験の陽性は不純物の影響によるとされている(The EFSA Journal 263(2005))。
発がん性	IARCにおいてGroup 3(IARC 16(1978))であることから「分類できない」とした。ラット及びマウスの長期(約2年)の経口及び経皮投与試験において、本物質に発がん性があるとの証拠は得られていないとの報告がある(IARC 16(1978))ことから、分類できないとした。
生殖毒性	データ不足で分類できない。なお、マウス、ラット、ウサギ、イヌにおいて催奇形性が認められなかったとの報告が複数ある(HSDB(2002)、Birth Defects(3rd, 2000)、Teratogenic(12th, 2007))が、親の性機能、生殖能への影響が不明である。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	自動車修理工場において本物質のパウダーを誤って床にこぼしてしまい、それに30分程度ばく露したヒトが、急性症状(鼻の熱傷、胸の痛みや締め付けられるような感覚、咳、呼吸困難、のどの痛み、胸焼け)を訴えたという報告(HSDB(2002)、The EFSA Journal 263(2005))があることから、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	ラットを用いた18週間の混餌試験(0、0.1、0.25、0.5、1.0 or 2.0% ;100、250、500、1000 mg/kg/bw)において、最高用量を投与した群に肝障害が認められたとの報告があるが(IARC 16(1987))、いずれも区分外の投与量であり、このデータのみでは分類できないため、データ不足により分類できないとした。
誤えん有害性	データなし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: 甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC ₅₀ = 22.9 mg/L (AQUIRE, 2011) から(急性)区分3とした。 長期: 急性毒性区分3であり、急速分解性がない(難分解、BODによる分解度: (慢性) 0%(既存点検, 1987))ことから区分3とした。
残留性・分解性	難分解性
生体蓄積性	低濃縮性
土壤中の移動性	該当情報なし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
副次危険性	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物〔ローダミンB〕〔施行令別表9〕(2026年(令和8年4月1日)以降)

危険性又は有害性を調査すべき物〔ローダミンB〕
(2026年(令和8年4月1日)以降)

16. その他の情報
参考文献

NITE-CHIRP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)
The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data
The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II
化学品安全管理データブック(化学工業日報社)
化学大辞典(共立出版)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。